

# 防災出前講座の開催と避難確保計画作成の促進

○複数の自治会が合同で主催した風水害時避難訓練とあわせて、防災出前講座を実施し、地域の水害リスクに対する防災意識の醸成を図った(感染予防対策を行いながら、120名が参加)。



○地域防災計画に位置付けられた要配慮者利用施設に対して、防災課職員が直接訪問し、避難確保計画作成方法や避難訓練の実施方法を説明し、促進を図った。

○令和3年11月30日現在、対象の57施設のうち、46施設が避難確保計画作成済みであり、4月以降に直接訪問を開始してから、18件の作成および提出があった。また、避難訓練の実施結果報告についても、コロナ禍であるにもかかわらず、すでに11施設から報告がきている。

# 民生・児童委員への出前講座の実施

福生市

福生市民生・児童委員北地区定例会において、防災に関する出前講座を実施しました。

多摩川洪水時の避難支援活動に携わるうえで必要な知識について、防災主管課職員よりレクチャーをさせていただきました。令和2年度には、南地区定例会においても同様の出前講座を実施しています。

講座では、福生市多摩川洪水・内水ハザードマップを活用し、ハザードリスクの高い区域や身近な危険について確認してもらいました。

## 出前講座で使用したスライド

### 被害の様子



### 令和元年東日本台風での対応

平時の多摩川 (明神下公園付近)



台風19号接近時 (明神下公園付近)



# 警戒レベルごとの避難情報発信の改善

羽村市

- 令和3年5月の災害対策基本法の一部改正に伴い、警戒レベルごとの防災情報発信の内容を見直しすることとした。
- 市は、気象庁の発表する気象情報により「警戒レベル」を設定することとし、発信のタイミングを明確にできるよう改善した。
- 警戒レベルに応じて、あらかじめ高齢者等避難・避難指示の対象地区（土砂災害警戒区域等）と避難所を設定しておき、速やかに情報が提供できる体制とした。
- スマートフォン等へのメール配信にあっても、各自でハザードマップ等の情報が確認できるような配信とした。

## 【警戒レベル1】 台風・豪雨の接近が予想される時

台風等接近等の注意喚起の情報を発信（ハザードマップ等の情報をリンク）

## 【警戒レベル2】 大雨注意報・洪水注意報・氾濫注意情報が発令された時

台風等接近等の注意喚起の情報を発信（ハザードマップ等の情報をリンク）

## 【警戒レベル3】 大雨警報・洪水警報・氾濫警戒情報が発令された時

高齢者等避難（対象地区、避難所）の情報を発信（ハザードマップ等の情報をリンク）

## 【警戒レベル4】 土砂災害警戒情報・氾濫危険情報が発令された時

避難指示（対象地区、避難所）の情報を発信（ハザードマップ等の情報をリンク）

## 【警戒レベル5】 大雨特別警報・氾濫発生情報が発令された時

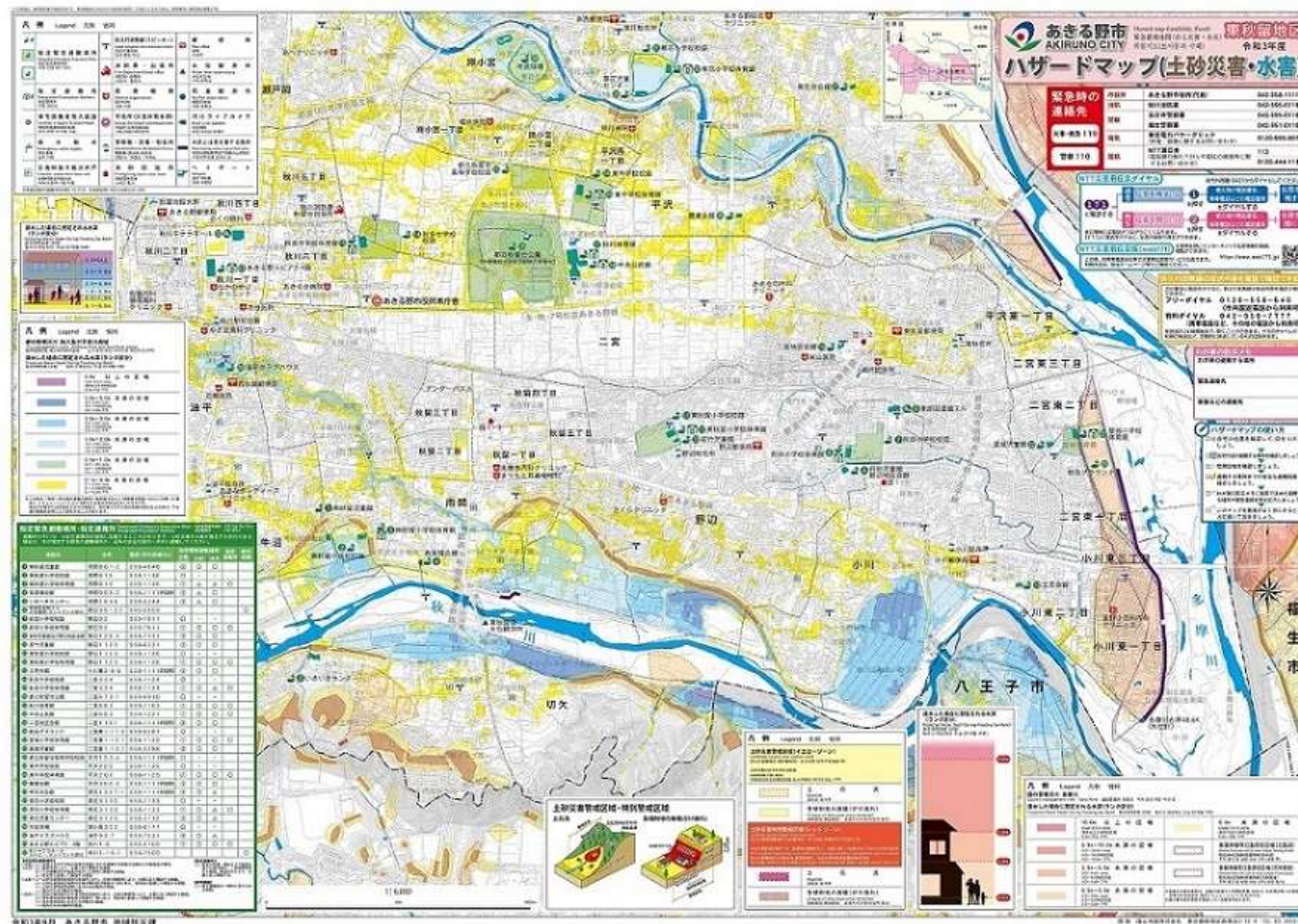
非常時の状況に応じて、適宜避難情報等を発信



# 土砂災害・水害ハザードマップの更新

あきる野市

秋川・平井川流域の浸水予想区域が更新されたため、土砂災害・水害ハザードマップを作成



- ハザードマップ面の更新だけでなく、裏面記載の情報啓発面ではマイタイムラインを記入できるようにしたり、警戒レベル等の解説について更新した。
- 広報やホームページ等に掲載し、住民に周知を行った。



# 水害に関する防災教育の推進

あきる野市

- 更新したハザードマップを活用し、市内の都立高校、市立の小中学校で更新したハザードマップを活用し、水害関連の内容を中心に防災教育を実施。
- 令和元年東日本台風での被害状況やドローンで撮影した被害写真を活用し、説明。





# 防災意識の向上を図るため防災講和に取り組んでいます。

## 取組の実施内容を記載

- 令和3年度は現時点では計2回、小学生に防災講和を行っている。
- 応急給水栓やマンホールトイレ、防災行政無線等の災害時使用する資機材を紹介しました。

### 瑞穂第一小学校



### 瑞穂第三小学校







# ハザードマップ作成と周知【令和4年度予定】

日の出町

## ○土砂災害・洪水ハザードマップ作成

○令和3年度中に公表が予定されている土砂災害警戒区域、特別警戒区域の見直しおよび、令和2年8月に公表された浸水予想図(秋川及び平井川流域)を反映させたハザードマップの更新を計画

○町内を2区域(大久野地域・平井地域)分け2種類作成して全世帯へ配布する予定

○町HPへの掲載と、スマートフォンで簡単に閲覧可能となるアプリ(位置表示機能等付)による情報提供も検討中

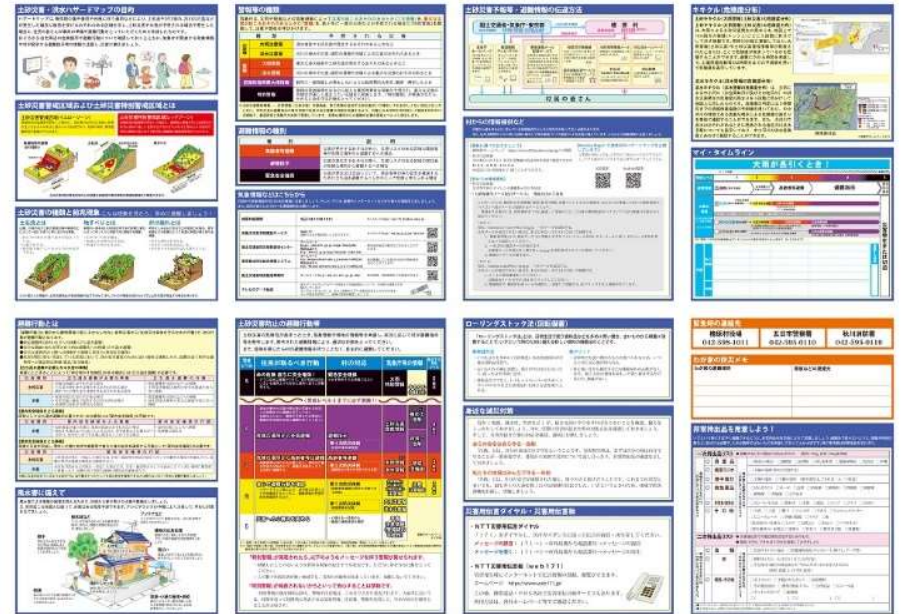
○マップ裏面等を有効に活用して避難レベル、タイムライン等の情報の掲載内容を精査予定



# 洪水ハザードマップ作成、改良と周知

檜原村

## ○洪水ハザードマップを作成



○令和2年8月に公表された秋川及び平井川流域浸水予想区域図を反映した洪水ハザードマップを作成。村内を8区域に分け、8種類のハザードマップを作成。

○今回の洪水ハザードマップ作成に合わせ、簡単にハザードマップを持ち歩くことができるようスマートフォン向けの位置表示機能付きアプリを開発。

○マップ裏面に、避難時の心得や非常持ち出し用品のチェックリスト、避難の目安等の情報を掲載し、水害リスク等の周知を図った。

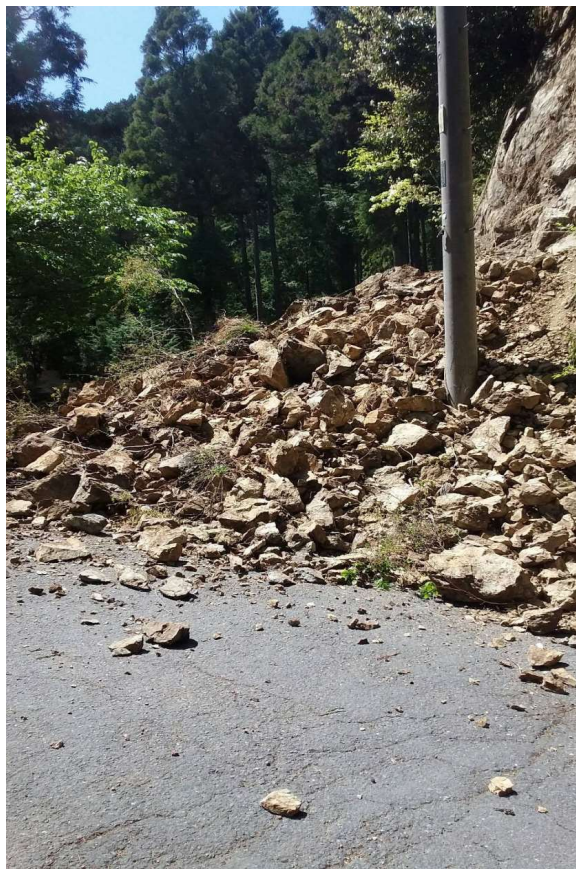


# 各自治会との意見交換会の実施

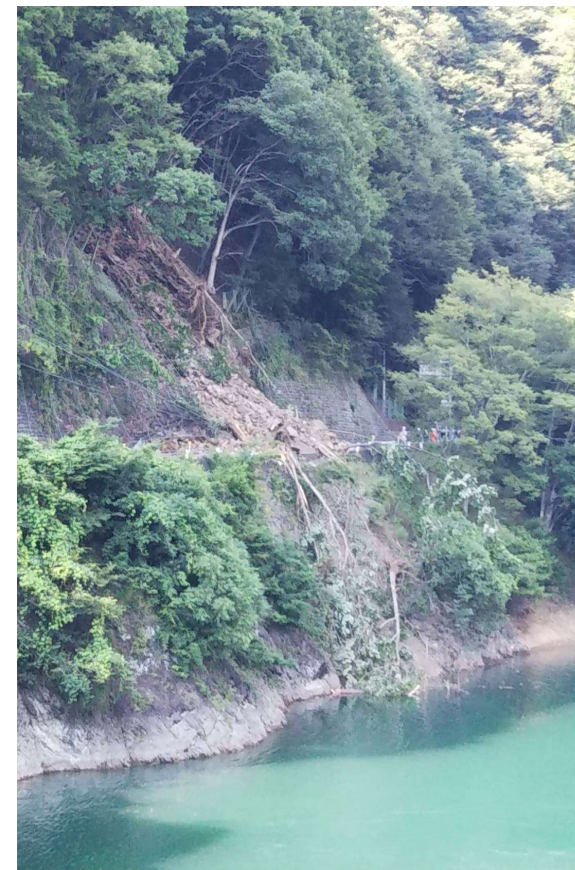
○奥多摩町地域防災計画の改訂に伴い各自治会(18自治会)における意見交換会を実施した。  
○現計画における避難所・避難経路について再確認し、感染症対策を踏まえた避難所運営について説明を行った。また、自治会内における危険箇所の現地確認を行い、防災意識の促進を図った。



自治会意見交換会の様子



令和3年4月18日  
南水川地区土砂崩れ



令和3年7月18日  
小河内地区土砂崩れ